

第 64 回愛山会ハイク(東山(松明峠))ご報告

1. 目的地：弓張山地(湖西連峰)・東山(松明峠) (258m)
2. 実施日：令和 7 年 10 月 18 日 (土)
3. 天 候：曇り
4. 参加者：10 名
5. 当日の状況

当初予定していた 10/4 は小雨が続くとの予報で、予備日の 10/18 での実施となった。

集合は豊橋駅改札前に 9 時 15 分、新しく 2 名の参加をいただき、令和元年以来の久しぶりの二桁となる 10 名での出発であった。

その日の豊橋は、“ええじゃないか豊橋まつり”の初日に当たっており、駅から出る葦毛(いもう)湿原行きの路線バスは、夜の“市民総おどり”会場であり、路面電車(昔はチンチン電車と呼んでいた)が走る“駅前大通り”を通過、ハイクのスタート地点である岩崎・葦毛湿原バス停に予定どおりの 9 時 50 分に到着した。

簡単な打ち合わせを済ませてスタート、20 分弱で葦毛湿原に到着。葦毛湿原は、「東海のミニ尾瀬」と呼ばれており、湿原全体が愛知県の天然記念物に指定されている。当日は、幸いにもシラタマホシクサ(白玉星草)やサワギキョウ(沢桔梗)が開花しており、湿原の風景を楽しみながら木道上を 20 分ほど歩いて弓張山地(湖西連峰)尾根に向かう登り口に着いた。小休止の後いよいよ登り開始、途中、予定のコースを間違えて直登ぎみのルートを選択、40 分後に尾根に着く。その後、ところどころで小休止を入れ、豊橋平野や三河湾、二川・湖西方面や浜名湖・太平洋の景色を楽しみつつ、約 1 時間後に東山に到着した。

東山は、別称松明峠と呼ばれ、その由来は、街道を通る旅人を見張る山賊が、山の上から狼煙を上げて仲間にしたことからとされている。山賊気分?で昼食休憩し、集合写真を撮ったのち、12 時 45 分に下山を開始。途中、わき道にそれて、北側斜面に 5、6 か所並ぶ防空壕を観察し、13 時 15 分に二川自然歩道入り口に、そして、13 時 40 分に JR 二川駅に着いた。次回 11 月実施のハイクの案内のち、解散とした。

心配した降雨はまったく無く、皆さんに元気に、しかも弓張山地(湖西連峰)の尾根をほぼ最南端まで歩いていただくことができ、担当幹事としてはうれしい限りであった。

(担当：川村)





